

教誨師連盟だより

No. 50

発行所

(公財)全国教誨師連盟

〒165-0026

東京都中野区新井3-37-2

電話 03-3389-7411

FAX 03-3387-3460

E-mail: zenren@soleil.ocn.ne.jp

公益財団法人全国教誨師連盟の動き

公益財団法人全国教誨師連盟理事長 近 藤 哲 城

教誨師の皆様には日ごろ施設における教誨の活動にご尽力いただいておりますことに敬意と感謝を申し上げます。また全国連盟の活動にご協力いただき心よりお礼申し上げます。

さて本年度より本連盟の新たな動きといたしまして広報委員会の活動がございいます。いろいろな方から「教誨」「教誨師」という言葉の認知度をもう少しあげることができないのかとよく言われました。今まで連盟におきましては、この言葉を外に向かって宣伝することの必要性があまり感じられなかったのが実際でした。公益財団法人を取得いたしましたことにより、私たちの仕事である「教誨」を皆さんに知ってもらいたい。そして、この活動に賛同いただき、できれば支援をしていただきたい。執行部の思いを理事会にかけて承認をいただいたことです。年度内に、細部をとりまとめ、次年度より結果を出していきたいと考えております。ご協力よろしく願いたします。

さて、来年は連盟発足六〇周年の記念大会が九月七、八日の両日に新宿京王プラザホテルにおいて開催されます。一九五六年に東京の第一生命ホールで全国教誨師連盟が産声を挙げて六〇年を迎えます。先輩教誨師、矯正局や施設の方々、ご縁をいただいた多くの皆様のおかげで、今日の公益財団法人全国教誨師連盟があることを思いますときに、感謝の念に堪えません。教誨師一人一人の心に残る有意義な大会にしたいものです。

連 盟 本 部

連絡先 全国教誨師連盟
☎ 〇三―三三九―七四一

◎「内閣府立入検査」について

平成二四年に全国教誨師連盟が公益財団法人になり、三年が経過した本年一〇月一八日、内閣府の立入検査が実施されました。講評は、全体的に良好でした。なお、検討が必要とされる点は次のとおりです。

① この建物・事務所の賃貸関係の書類がない。

矯正協会から借りているということだが、その辺の権利関係が明確になるよう、書類を含めてきちんと整理すること。光熱水料も矯正協会に負担されているというので、こちらの法人から見ると特段に問題ないのかなと思うが、矯正協会の方から見ると他の法人の光熱水料をなんの取り決めもなく負担していることが問題になるかもしれません。その点を、篤志面接委員連盟も教誨師連盟と同じ状況なのでしょうから、三者で話をして下さい。来週、矯正協会と話す機会があるので矯正協会にもその話をしておくので、三者でうまく調整をして権利関係の契約書面の作成等すること。

② 謝金に関する規定が整理されていない。

謝金の額をその場で決めるのではなく、ある程度の基準を決めた上で支給すべきですので、そういう規定を定めて下さい。

③ 旅費の規程があいまいである。

規程自体が役員にも適用されるのか、不明である。

一般の職員に日当を支払うのは問題ないが、役員に通常の交通費の実費を超えて日当を払った場合に、超えた部分が役員報酬と言う報酬に当たると言われかねないので、その辺を整理すべきです。

④ 役員報酬に関する定款の規定に疑義がある。

定款では、役員等は基本的には無報酬となっている。

評議員については特別な任務に対して報酬を支払うことができる旨規定があるが、理事・監事については規定がない。しかし、役員等報酬規程では区別なく払えるようになっていて、齟齬が生じている。そこを含めて整備なり整理をする必要がある。本来的には執筆料とか講演料とかですの、必ずしも役員として講演なりなんなりをするのではなく、依頼を受けてやることなので、必ずしも役員報酬と言うものではないのかなとも思いますので、そのあたりの整理をしていただきたい。先ほどの旅費の規程を含めて、役員報酬に当たるのか、役員としてもらっているのではなく個別の依頼に基づいてもらっているのかで、役員報酬と言うのか言わないのか、その当たりを検討してもらいたい。

⑤ 定款の規定に若干不明瞭な点がある。

一般法人法の九一条の二項の規定で、代表理事・業務執行理事は基本的に三カ月に一回理事会に対して職務執行の報告をしなければならぬとなっています。定款の中で、四カ月を超える期間で年に二回以上と言う特別の定めをすれば最低二回の報告でかまわないことになっています。教誨師連盟の定款の特別の定めを書き方が若干不明瞭で、その特別の定めだとそのように読めないような規定になっているので、修正してもらいたい。

講評では触れられなかったが、調査の中で、「まだ定められてい

ない『会員規程』等の諸規程は早急に制定すること。」との話があった。

◎「全国教誨師連盟顧問会議」

本年十一月一六日に全国教誨師連盟顧問会議が開催された。全国教誨師連盟の動向報告及び現状報告並びに今後の展望について会議が行われた。現状報告では、内閣府立入調査の結果や連盟六〇周年記念大会開催に関する事項等の報告が、今後の展望については、教誨師の高齢化及び女性教誨師の問題並びに教誨師の活動範囲の拡大について話し合われた。

◎「教誨師名簿」の発行について

「教誨師名簿」は、二年ごとに発行をしています。新しい「教誨師名簿」は、本年七月ころに発行する予定でしたが、教誨師の方々の住所や電話番号等の確認に手間取ったことに加えて、事務処理の遅れなどから大幅に遅れてしまいました。

この度、教誨師名簿をより有効活用していただけるように「各教宗派教誨師事務局一覧」を設けました。

なお、個人情報保護の關係上、会員各位においては、教誨師会員名簿の取り扱いにつきまして特段の配慮をお願いします。

◎「教誨マニュアル」の改編状況について

教誨マニュアル作成委員会による改編作業会議は、本年十一月三日に第二一回が開催されました。

改編作業会議では、作成委員がより充実したマニュアルを作成するために熱意を持って改編作業に取り組み、平成二八年度発刊に向けて順調に作業が進んでいます。

◎「広報委員会」

「教誨」「教誨師」について多くの方に理解していただくために、広報の方法等について討議を行い、ポスター及びリーフレット等を作成して配布する計画を進めています。成果の第一号として、今年度中にリーフレットを制作する予定です。

◎JKA補助金の動向について

公益財団法人JKAから毎年補助金をいただいておりますが、ここ数年間査定が厳しくなり補助金が大幅に減額されてきましたが、本年度は、三、三六四、〇〇〇円と前年度比二、〇〇〇円の減額でした。補助の対象とされる事業は、JKAの補助方針に則って運営していることはもちろんですが、補助金の減額を少するとともに、増額させるためには、事業の成果が目に見える形であること、また、社会に還元される必要があるとされています。このような点から、今まで以上に事情の効果及び成果等を上げて、その波及結果を社会の方々にわかりやすく説明できるようにすることが大切と思われます。

◎平成二六年度補助事業に係る自己評価(自己評価Ⅱ)の実施について
平成二六年度研修会終了から平成二八年二月末までを評価期間とし、平成二八年三月以降速やかに評価委員会を開催して、二回目の自己評価を実施し、「評価委員会議事録」を四月末日までに、全国教誨師連盟事務局まで提出願います。全国教誨師連盟では、全ての議事録を取りまとめ六月末までに「自己評価書」をJKAに提出します。

管区別委嘱解嘱状況表

25年度	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	合計
委 嘱	6	8	34	16	10	13	4	14	105
解 嘱	8	6	25	13	9	14	6	25	106
死 亡		1	4	1	1	2		4	13
増 減	-2	+1	+5	+2	±0	-3	-2	-15	-14
末人員	142	136	473	202	287	218	78	288	1,824

26年度	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	合計
委 嘱	7	4	17	10	15	13	6	28	100
解 嘱	5	3	11	7	13	8	1	11	59
死 亡	1	2	1	4	4	1	1		14
増 減	+1	-1	+5	-1	-2	+4	+4	+17	+27
末人員	143	135	478	201	285	222	82	305	1,851

平成27年11月30日現在

27年度	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	合計
委 嘱	2	4	8	11	8	7	2	9	51
解 嘱	3	2	7	7	5	2	1	4	31
死 亡			2	2		4		3	11
増 減	-1	+2	-1	+2	+3	+1	+1	+2	+9
末人員	142	137	477	203	288	223	83	307	1,860

管区別・宗教系統別教誨師人員表

平成27年11月30日現在

	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	合計
神道系	9	20 (2)	51 (3)	20	39 (6)	36 (2)	13	35 (1)	223 (14)
天台系	1	3	24	0	11	1	0	2	42
真言系	14	7	61 (2)	14	19	20	13	10 (1)	158 (3)
浄土系	59	44 (2)	124 (2)	95	112 (3)	72	20 (1)	150 (5)	676 (13)
禅宗系	23	27	58 (1)	18	11	20	5	28	190 (1)
日蓮系	9	8	42 (1)	20	22 (1)	24	7	19	151 (2)
諸 教	12	11	47	16	28 (1)	18	8	21 (1)	161 (2)
キリスト系	15	17	70 (5)	20 (1)	46 (6)	32 (3)	17 (1)	42 (4)	259 (20)
合 計	142	137 (4)	477 (14)	203 (1)	288 (17)	223 (5)	83 (2)	307 (12)	1,860 (55)

()書きは、女性の再掲である。

教宗派別委嘱解嘱状況表（平成27年11月30日現在）

教宗派名	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	委嘱	解嘱	死亡	委嘱	解嘱	死亡	委嘱	解嘱	死亡
神社本庁	9	11	1	10	6	1	7	5	1
大本	2	1					2	1	1
金光教	3	6	1	7	1	1			
日光東照宮		1							
天台宗	3	1	1						
高野山真言宗	1	1		3	3			1	
真言宗御室派	1								
真言宗智山派	2	1		3	1		1		1
真言宗豊山派	1	2		1			2		
浄土宗	7	4	1	4	2	2	2	1	
浄土真宗本願寺派	10	12	2	15	12	2	11	6	4
真宗大谷派	12	7	2	13	8	4	5	4	
臨済宗妙心寺派		1		1			1		
曹洞宗	6	3	2	3	3			2	1
日蓮宗	4	5	1	3	2		5	2	1
法華宗本門流							1	1	
立正佼成会	1	1		1	1			1	
天理教	17	13	2	3	3		4	2	1
カトリック	7	15		14	5		3	1	
日本聖公会	2	2		1					1
日本基督教団	12	10		9	6		5	3	
日本バプテスト連盟	1	1			1				
日本バプテスト同盟	1	1			1				
セブンスデー・アドベンチスト教団		1							
日本福音キリスト教会連合		1							
日本同盟基督教団	1								
日本長老教会		1							
イムマヌエル総合伝道団				1					
ウェスレアン・ホーリネス教団				1		1			
沖縄バプテスト連盟				1					
救世軍		3		1	1		1	1	
浄土宗西山禪林寺派						1			
日本キリスト改革派				1	1				
日本福音宣教会				1					
日本福音ペンテコステ教団	1								
日本ペンテコステ教団				1					
隣人キリスト教会		1							
天台真盛宗						1			
日本ホーリネス教団					1				
法華宗陣門流						1	1		
和宗				1	1				
プロテスタント(単立)	1			1					
合 計	105	106	13	100	59	14	51	31	11

札幌矯正管区教誨師連盟

連絡先 札幌矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇一一七八三―三九三六

一 研修大会

第五一回札幌矯正管区教誨師研修大会(競輪公益事業振興補助事業)

(一) 開催日 平成二七年六月二四日(水)～二五日(木)

(二) 場所 ホテル日航ノースランド帯広

(三) 参加者 約一〇〇名

(四) 大会テーマ「希望へ! ―教誨の原点を見つめる―」

(五) 記念講演

「帯広刑務所と十勝・帯広とのかかわり」

元帯広市議会議長 嶺野 侑氏

(六) 研究発表

ア 「再犯できない人を作ること」

札幌刑務所教誨師会 藤井照人師

イ 「教誨の原点を見つめる」

千歳教誨師会 荒澤道範師

ウ 「私の教誨活動」

函館少年刑務所教誨師会 水島弘司師

二 理事会等

定例理事会

(一) 開催日 平成二六年一二月一日

場所 教化センター札幌別院

協議事項 平成二六年度活動・会計状況等

(二) 開催日 平成二七年二月二五日

三 札幌矯正管区教誨師連盟役員

場所 教化センター札幌別院

協議事項 平成二六年度活動・会計状況等

(三) 開催日 平成二七年六月二三日

場所 ホテル日航ノースランド帯広

協議事項 平成二六年度活動・決算等

会長 松本哲朗(札幌刑務所教誨師会)

副会長 相河孔明(月形刑務所教誨師会)

同 宮本正尊(千歳教誨師会)

理事 柏川法潤(旭川刑務所教誨師会)

同 小澤眞了(帯広刑務所・帯広少年院教誨師会)

同 藤井乗亮(釧路刑務所教誨師会)

同 梶原睦尚(網走刑務所教誨師会)

同 原 顕彰(函館少年刑務所教誨師会)

同 細谷康麻呂(月形学園教誨師会)

[平成二七年一月一日現在]

仙台矯正管区教誨師連盟

連絡先 仙台矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇二二―二八六一三七―五

一 研修大会

第五七回仙台矯正管区教誨師研修岩手大会（競輪公益事業振興補助事業）

開催日 平成二七年一〇月一五日（木）―一六日（金）

場 所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

参加者 教誨師九四名ほか

大会テーマ「希望へ！」

研究討議

討議題 「自己を見つめ直し、自己改善を促す宗教教誨」

発表者 青森県教誨師会所属教誨師 三 浦 真 介 師

秋田県教誨師会所属教誨師 飯 野 耕太郎 師

福島県教誨師会所属教誨師 亘 理 正 明 師

山形県教誨師会所属教誨師 新 野 芳 博 師

記念講演

「『ぼくだって善人になりたい』生まれてきてくれてありがとう」

ノンフィクションライター 北 村 年 子 氏

二 定例理事会

(一) 開催日 平成二七年三月一三日

場 所 仙台矯正管区会議室

(二) 開催日 平成二七年五月二九日

場 所 仙台矯正管区会議室

(三) 開催日 平成二七年一〇月一五日

三 仙台矯正管区教誨師連盟役員

場 所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

会 長 島 地 興 霖（岩手県教誨師会）

副会長 井 澤 隆 徳（山形県教誨師会）

理 事 高 山 元 延（青森県教誨師会）

同 伊 達 廣 三（宮城県教誨師会）

同 菊 池 了 邦（秋田県教誨師会）

事務局長 中 野 重 孝（福島県教誨師会）

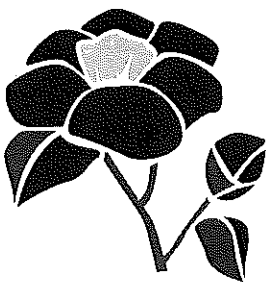
顧 問 徳 力 賢 隆（宮城県教誨師会）

監 事 金 平 祖 隆（福島県教誨師会）

同 小 野 良 孝（宮城県教誨師会）

信 楽 度（宮城県教誨師会）

【任期 平成二八年三月三一日まで】



東京矯正管区教誨師連盟

連絡先 東京矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇四八・六〇二・一六〇二

一 研修大会

(一) 第五九回東京矯正管区教誨師研修埼玉大会 (競輪公益事業振興補助事業)

開催日 平成二七年六月一八日(木)～一九日(金)
場 所 埼玉県さいたま市浦和区
浦和ロイヤルパインズホテル

参加者 教誨師・施設職員・来賓他三一五名

主 題 「希望へ！」

副 題 「願いに耳を傾け、思いを伝える」

基調講演 「かたくなな心も開くコミュニケーション」

講 師 カウンセリングオフィスうらら代表

富田 美佐緒 氏

分科会 第一分科会から第十分科会に分かれて自由討議

記念講演 「当事者研究のススメ」

講 師 NPO法人ウイメンズアクションネットワーク

理事長 上野 千鶴子 氏

(二) 第一三回東京矯正管区教誨師連盟課題別研修会

開催日 平成二七年一二月四日(金)

場 所 さいたま新都心合同庁舎二号館

参加者 少年院で活動する教誨師

主 題 「希望へ！」

副 題 「少年に寄り添い社会につなぐために」

講 演 「改正少年院法と少年鑑別所法」

講 師 東京矯正管区第三部長 柿崎 伸二 氏
表 市原学園・市原刑務所教誨師

助言者 多摩少年院教誨師 石井 照恩 氏
久里浜少年院教誨師 伊佐 榮豊 氏
市原学園統括専門官 荒井 隆則 氏
多摩少年院統括専門官 横田 正巳 氏
久里浜少年院専門官 立石 健一郎 氏
貝塚昌通 氏

二 理事会・運営委員会等

(一) 会計監査 五月二二日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

(二) 定例理事会 第一回 五月二二日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回 六月一八日(木) 浦和ロイヤルパインズホテル

第三回 平成二八年二月二五日(木) 開催予定

(三) 運営委員会

第一回 五月二二日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回 七月二八日(火) さいたま新都心合同庁舎二号館

第三回 一〇月一三日(火) さいたま新都心合同庁舎二号館

三 東京矯正管区教誨師連盟役員

会 長 中川 文隆(府 中)

副会長 遠藤 了義(千葉)・岩田 光哲(川 越)

同 芝田 正順(府 中)・飯塚 重(水 戸)

事務局長 竹岡 郁雄(八王子)

事務局次長 高岡 精司(府 中)・藏田 秀樹(千葉)

監 事 宮本 賢昭(府 中)・増田 廣神(水 戸)

(平成二七年一〇月末現在)

名古屋矯正管区教誨師連盟

連絡先 名古屋矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇五二一九七一―五九八四

一 研修大会

第五九回名古屋矯正管区教誨師研修大会(競輪公益事業振興補助事業)

(一) 開催日

平成二七年六月一日(木)―一二日(金)

(二) 場所

ホテルフジタ福井

(三) 参加者

教誨師ほか矯正施設関係者等

(四) 大会テーマ「希望へ!」

サブテーマ「心の通い合う教誨を探る」

(五) 基調講演

演題 「発達障がい背景」

講師 社会福祉法人るんびに苑理事長

藤 大慶氏

(六) 記念講演

演題 「揺れる心をつめて」

講師 公益財団法人松原病院代表理事

松原 六郎氏

二 理事会の状況

(一) 定例理事会

平成二七年六月一〇日(水) ホテルフジタ福井

(二) 臨時理事会

平成二七年七月一三日(月) 水明館

三 名古屋矯正管区教誨師連盟役員

会長 石川 宣(愛知少年院)

副会長 林 精應(福井刑務所)

同 楠原 純孝(名古屋刑務所)

事務局長 加藤 通幸(名古屋拘置所)

理事 川越 恒豊(富山刑務所)

同 松本 昌丈(金沢刑務所)

同 木津 祐昌(福井刑務所)

同 岩水 龍峰(岐阜刑務所)

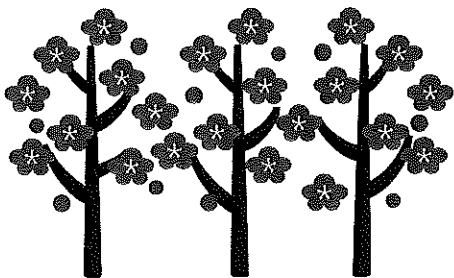
同 星川 佳信(三重刑務所)

同 榎 研治(名古屋刑務所)

監事 稲生 隆信(富山刑務所)

同 箕浦 良信(笠松刑務所)

〔平成二七年一月一日現在〕



大阪矯正管区教誨師連盟

連絡先 大阪矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇六―六九四―一五七七―

一 第六三回大阪矯正管区教誨師研修会について

(一) 開催日 平成二七年一月一九日(木)

(二) 場所 大阪市中央区久太郎町四―一―二
難波別院(南御堂) 同朋会館

(三) 参加者 教誨師一五一名・他六八名 合計二一九名

(四) テーマ 「希望へ!」(メインテーマ)
「人は出遇いによって輝く。」(サブテーマ)

(五) 内容

ア 式典

イ 表彰

ウ シンポジウム(鼎談)

テーマ 「人は出遇いによって輝く。」

シンポジスト

野田 詠氏 氏(アドラム・キリスト教会牧師)

墨林 浩 教誨師(大阪医療刑務所)

森 康彦 教誨師(播磨社会復帰促進センター)

二 会議について

(一) 定例理事会

第一回 平成二七年六月二一日(木) 大阪矯正管区会議室

第二回 平成二七年十一月一九日(木) 難波別院第一会議室

(二) 研修テーマ委員会

平成二七年九月七日(月)

御堂会館北館北二階ホール

三 今後の予定について

初任者研修 平成二八年二月一六日(火) 難波別院
意見交換会 平成二八年二月二五日(木)

四 大阪矯正管区教誨師連盟役員について

会長 松浦 寛法(大阪)

副会長 前阪 良憲(滋賀)・時久 忠夫(姫路少)

事務局長 岩崎 慶昭(奈良少)

理事 治田 義行(滋賀)・坪井 道彦(京都)

同 井上 廣(京都医療)・北畠 顯諒(和泉学)

同 明石 和成(播磨センター)・宮谷 泉(奈良少)

同 阪口 隆俊(和歌山)・高木 歆恒(和歌山)

監事 高木日出喜(京都)・田中 瑞修(奈良少)

主事 総務 松林 俊明(奈良少)

同 広報 墨林 浩(大阪医療)

同 会計 大本 和行(浪速少)

【任期 平成二九年三月三一日まで】

広島矯正管区教誨師連盟

連絡先 広島矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八二—二三三—八二五二

一 第二六回広島矯正管区教誨師研修会(競輪公益事業振興補助事業)

(一) 開催日 平成二七年六月二五日(木)

(二) 場所 アークホテル広島駅南(広島市)

(三) 目的 広島矯正管区の教誨師として、教誨活動を実施する上で、研修会を通して、被収容者と共に希望を持つて心豊かな人生を「成し遂げる力」が育まれる教誨活動に資することを目的とする。

(四) テーマ 主題「希望へ！」

副題「成し遂げる力を育む教誨へ」

(五) 参加者 教誨師六九名・矯正施設職員等三七名

(六) 式典

(七) 基調講演

演 題 「平山郁夫の画業―鎮魂と平和への祈り―」

講 師 平山郁夫美術館館長

広島矯正管区管内篤志面接委員協議会会長

平山助成氏

(八) 講演

演 題 「新少年院法、少年鑑別所法の施行について」

講 師 広島矯正管区第三部長 花原明博氏

二 第六回広島矯正管区教誨師連盟新任教誨師研修会

(一) 開催日 平成二七年一月二八日(火)

(二) 場所 広島矯正管区ゼミナール室

(三) 目的 平成二五年から平成二七年一〇月までに、初めて

広島矯正管区教誨師連盟に加入した教誨師及び前回新任教誨師研修会に参加できなかった教誨師を対象として、矯正施設における、教誨活動を行う上で必要な知識及び技能等を習得することを目的とする。

とする。

(四) 参加者 教誨師二二名・矯正管区職員四名

三 会議の状況について

(一) 定例理事会

平成二七年二月二七日(金) 開催

広島矯正管区第一教室

(二) 定例理事会

平成二七年六月二五日(木) 開催

広島市 アークホテル広島駅南

四 広島矯正管区教誨師連盟役員

会 長 山根 眞 三 (広島県教誨師会)

副会長 土井 一 (広島県教誨師会)

事務局長 高橋 哲 (広島県教誨師会)

理 事 櫻井 宥 祥 (鳥取県教誨師会)

同 小林 哲 朗 (島根県教誨師会)

同 枝川 円 陽 (岡山県教誨師会)

同 原 眞 章 (岡山県教誨師会)

同 吉木 祥 徳 (山口県教誨師会)

同 岸 康 之 (山口県教誨師会)

同 桑羽 隆 慈 (山口県教誨師会)

主 事 小林 克 哉 (広島県教誨師会)

監 事 奥村 宏 道 (岡山県教誨師会)

同 佐藤 元 宣 (広島県教誨師会)

高松矯正管区教誨師連盟

連絡先 高松矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八七—八三—一八六一

一 第四二回高松矯正管区教誨師研修大会について（競輪公益事業振興補助事業）

- (一) 開催日 平成二七年七月七日（火）～八日（水）
- (二) 場所 サザンシティホテル（高知県南国市）
- (三) 目的 四国四県の教誨師と関係職員が一堂に会し、叶えられる未来・これから彼らにできることの意味を考え、効果的な教誨の在り方について考える。

- (四) 参加者 教誨師四四名、施設職員二九名ほか

- (五) 主 題 「希望へ！」

- (六) 副 題 「誇りを回復する教誨をめざして」

- (七) 日 程

ア 式 典

「お遍路から学ぶ教誨師の役割」

発表者 徳島刑務所教誨師 犬塚弘経師

テーマ 「教誨師として伝えたいこと」

発表者 松山刑務所教誨師 吉川弘信師

テーマ 「人間としての目覚めの視点からの教誨」

発表者 四国少年院教誨師 楠見司朗師

ウ 基調講演

「地域での立直り支援

—信じ続けられれば応えてくれる—」

講師 特定非営利活動法人福岡県協力雇用主会会長

野口義弘氏

エ 分科会

第一部会 「依存からの脱却について」

第二部会 「自立支援について」

オ 分科会報告

二 会議の状況について

- (一) 各県教誨師会会長会

平成二七年三月六日（金） 高松矯正管区大会議室

- (二) 定例理事会

平成二七年七月七日（火） サザンシティホテル

三 高松矯正管区教誨師連盟役員

会 長 田村正教（高松刑務所教誨師）

副会長 西村宗純（徳島県教誨師会長）

理事 北嶋真二郎（香川県教誨師会長）

同 松本信見（愛媛県教誨師会長）

同 長谷川隆嶽（高知県教誨師会長）

同 小角正二（徳島刑務所教誨師会長）

同 筑後誠隆（高松刑務所教誨師会長）

同 村上義英（松山刑務所教誨師会長）

同 藤山憲二（高知県教誨師会副会長）

同 藤井隆彦（丸亀少女の家教誨師会長）

同 加藤親平（四国少年院教誨師会長）

同 二神瑞隆（松山学園教誨師会長）

監 事 越智憲明（松山刑務所教誨師）

同 道願正美（高知刑務所教誨師）

事務局長 上野忠昭（高松刑務所教誨師）

事務局員 堀江孝一（高松刑務所教誨師）

〔平成二七年一〇月三十一日現在〕

福岡矯正管区教誨師連盟

連絡先 福岡矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇九二一七七一・九〇八一

一 研修会の状況について

今年度は、「教誨師研修大会」を開催。

◎「第四一回福岡矯正管区教誨師研修佐世保大会」(競輪公益事業
振興補助事業)

①開催日 平成二七年一〇月二七日(火)～二八日(水)

②会場 レオプラザホテル佐世保(佐世保市)

③参加者 教誨師九三名・施設職員五七名・来賓七名

④大会テーマ「希望へ」
サブテーマ「こころをはぐくみ育てる宗教教誨」

⑤日程

第一日目 式典、総会、記念講演

第二日目 分科会(グループ教誨・個人教誨・少年施設)、
閉会式

⑥講師 学校法人ノートルダム清心学園理事長

渡辺和子氏

⑦講題 「現代の忘れもの」

二 会議の状況について

◎定例理事会(各教誨師会会長・福岡矯正管区)

①日時 平成二七年五月一二日(火) 一四時

②会場 本願寺福岡教堂(連盟事務局)

◎総会(管内教誨師会会員)

①日時 平成二七年一〇月二七日(火) 一四時

三 福岡矯正管区教誨師連盟役員

②会場 レオプラザホテル佐世保(佐世保市)

会長 菊池慈峰(福岡教誨師会会長)

副会長 後藤法龍(熊本県教誨師会会長)

理事 渡辺和弘(北九州地区教誨師会会長)

同 田中英康(佐賀県教誨師会会長)

同 吉谷大憲(長崎地区教誨師会会長)

同 堤暢之(佐世保地区教誨師会会長)

同 薬師寺哲雄(大分県教誨師会会長)

同 工藤海要(宮崎県教誨師会会長)

同 高橋格昭(鹿児島県教誨師会会長)

同 田中義弥(沖縄県教誨師会会長)

監事 眞壁義海(熊本県教誨師会)

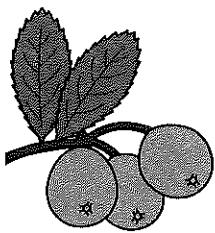
同 黒田幸裕(北九州地区教誨師会)

代議員 各施設の代表者一八名

事務局長 川崎文丸(福岡教誨師会事務局長)

事務局員 藤春美穂(福岡教誨師会事務局員)

[平成二七年一〇月三十一日現在]



浄土真宗本願寺派

連絡先 浄土真宗本願寺派社会部
〈社会事業担当〉

☎ 〇七五—三七—一五一八一

○近況報告

浄土真宗本願寺派では、当派に属する教誨師・篤志面接委員等を会員として「浄土真宗本願寺派矯正教化連盟（以下、「本派矯正教化連盟」という。）」を組織し、宗門の矯正分野を担って各種事業を進めております。

本派矯正教化連盟では、平成三五年が本派教誨一五〇周年目となることから、「本派教誨一五〇周年に向けて、さらなる展望のもとに」を事業計画の目標として、平成二四年度から平成三五年度（四期一二カ年）までの中・長期計画を策定いたしました。本年度より、第二次中期計画となり、総合テーマを「傾聴、自己変革への道」として、一・二年目に実務研修、三年目に全国研修大会を開催し、会員一人ひとりの研鑽を深める学びの場を積極的に開放・提供するものです。

今年度は、「本派教誨師・篤志面接委員 実務研修」を九月一四日から二日間、本山・西本願寺において開催いたしました。テーマを「共感的な理解（教誨・面接の場面、一期一会）」として、参加者・委員等を含め五八名が研鑽を深めました。

まず基調講演では、龍谷大学大学院実践真宗学特任教授の葛野洋明師に、「悪人正機の救いから見える他者観」をテーマにお話をいただきました。続いて問題提起として、広島拘置所所属の教誨師・高橋哲了師（本派矯正教化連盟 常任委員）より、部会でのテーマ説明の後、四部会に分かれての話し合いが行われました。一日目の部会では、当面している状況等についての意見交換が行われました。二日目の部会で

は、ワールドカフェ形式による話し合いを行いました。基調講演を受けて今後どのように実践していくかなどについての意見を出し合いました。最後に、全体協議会において、運営委員による総括がなされ、実務研修として実り多いものとなりました。

（今年度の主な事業）

○龍谷大学矯正・保護総合センターとの連携推進

平成二七年七月一日、龍谷大学矯正・保護総合センター主催のシンポジウム「宗教教誨の現在と未来 日本人の宗教意識」が開催され、大谷光真前門様がご出向になりました。当日の様子は、龍谷大学のホームページにおいて、YouTubeにてご覧いただけます。

○機関誌の発刊

本派矯正教化連盟では機関誌『教誨通信』を年二回発刊しております。本年度は、第四七号を特集「教誨・面接こぼれ話Ⅲ」とする教誨・面接活動での体験談（「心に残ったこと」・「聞いてほしいこと」・「失敗談・成功談」）及び第四八号を実務研修の開催記録として発刊します。

○矯正展の開催

平成一五年度から取り組んでおります本願寺境内施設における「矯正展」を今年度も計画しており、明年一月九日から宗祖親鸞聖人のご命日にあたる一月一六日までの「御正忌報恩講法要」期間中、キャピック展とパネル展という形で開催する予定です。

○支部において

当派の定めております教区に「本派矯正教化連盟」の支部を設置しておりますが、その支部の相互連絡・連携を目的として矯正管区毎に「支部連絡協議会」を設けており、その「支部連絡協議会」主催のもと、管区毎に会員を集めて、研修会や協議会を実施しております。

真宗大谷派

連絡先 真宗大谷派教育部
☎ 〇七五―三七―一九一九三

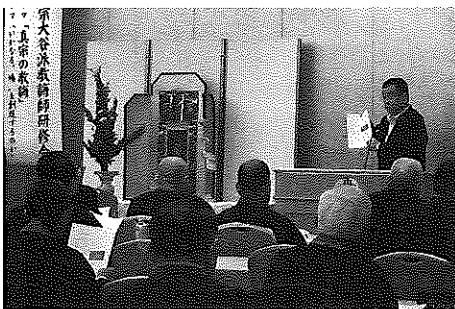
真宗大谷派教誨師会の現況

一 近畿連区と連携し、第五七回「真宗大谷派教誨師会研修会」

五月一四・一五日において、今治市国際ホテル及び松山刑務所大井造船作業場友愛寮を会場として、第五七回「真宗大谷派教誨師会研修会」を八四人の参加を得て、「真宗の教誨―いかなる「場」を創造するのか」をテーマに開催した。この研修会は、年に一度、会場を本山・地方（北海道教区及び各連区単位）の交互に行っており、今年は近畿連区が当番として四国教区での開催の運びとなった。

研修会では、現代社会において「居場所の喪失」という危機が指摘される中、被収容者に限らず、私どもはいかなる「場」を指向しようとしているのかを課題とした。そしてその課題をもとに、松山刑務所大井造船作業場での取り組みをモデルケースとして取り上げ、真宗教誨の視点から学習した。この作業場は、一九六一年から刑務所内の開放的処遇施設として、民間造船所である新来島どつく内に設けられ、被収容者と職員の間で信頼関係を基調に一般の社会人と共同で作業し、再犯防止と社会復帰に取り組んでいる。

初日はホテルを会場に講義が行われ、前場長の高須賀直樹氏（現高知刑務所庶務課長）から「技術の前に心を」の講義のもと講義をいただいた。同氏は長年に亘り被収容者と寝食を共にし、堀のない刑務所の作業場長として被収容者の社会復帰に尽力されてきた経験など、他の矯正施設ではみられない処遇などを紹介されつつ再犯防止の重要さや「場」作りの大切さを語られ、二日目は、松山刑務所大井造船作業場友愛寮、造船所内の見学を行い、被収容者の日常を学んだ。見学後、現場長の沖津泰志氏から寮内での被収容者への教育プログラムなどの説明を受け、参加者からは日ごろ接し



「技術の前に心を」と題した講話
高須賀 前大井造船作業場長

ている矯正施設とは全く異なった矯正教育に驚きの声も聞かれた。
二日間を通して、「共に」ということ、「赦す」ということ、「出番」や「居場所」を確保していくことなど、真宗の教誨を具現化していく上で、参加者も共感し学びの多い研修会となった。

二 「東西本願寺教誨師合同海外研修」開催

東西本願寺の教誨師の交流事業として、一月二日から三日までの三日間、「東西本願寺教誨師合同海外研修」を台湾にて開催した。

この研修会は、宗祖親鸞聖人のみ教えをいただく東西本願寺に所属する矯正関係者が宗派の垣根を超えて相互の交流を図り、台湾における矯正事情や今日の犯罪情勢を共有の課題として学び、今後の矯正活動の一助とすべく企画催行した。

研修内容としては、初日は開会式後に、一橋大学で法学博士号を取得された謝如媛氏（国立政治大学副教授）より「台湾の矯正事情について」と題した講義が行われ、「台湾の矯正施設は近年過剰収容となっており、収容人数に対し一三〇％を超える施設もある。また、収容者は男女とも薬物犯が多い」とその実状が語られた。さらに講義後には、講師を交え教誨師や篤志面接委員の方々の交流会を開催した。二日目は、午前中に台北監獄（刑務所）を視察。引き続き、現地刑務所関係者と昼食を挟みながら意見交換と懇親を深めた。

午後からは桃園女子監獄（刑務所）の視察を行った。両刑務所とも非常に明るく開放的な施設であり、日本の矯正施設との相違点を多く見聞した。また、夕方からは台湾の名所でもある九份を観光。最終日は閉会式の後、本願寺派台湾別院跡地を視察し、台湾を後にした。

この研修には、本多隆朗本願寺派総務、三島多聞大谷派参務をそれぞれの団長として、（公財）全国教誨師連盟総裁大谷光真本願寺派前門主をはじめ両派で五五名が参加した。

この研修を通して東西本願寺教誨師の交流が一層深まり、相互の教誨活動の幅が広がった。これを機縁として今後も両派の連携を深めていきたい。



桃園女子刑務所にて（視察団一行）

天理教教誨師連盟

連絡先 天理教布教部社会福祉課
☎ 〇七四三一六三一五一一

〈事業報告〉

◇管区別ブロック研修会

天理教本部では、教祖一三〇年祭（平成二八年一月二六日執行）にあたり、三年千日と日を仕切つて年祭活動が進められております。その最終年に入り、天理教教誨師連盟は教誨師（篤志面接委員含む）として、教祖にお喜びいただくための資質向上を目指して、全国八管区で「管区別天理教教誨師・篤志面接委員ブロック研修会」を実施してまいりました。平成二七年一〇月開催の広島管区ブロック研修会を以つて修了いたしました。その事業報告させていただきます。大阪、高松、東京、福岡各管区は、前号で報告済みですので省略いたします。

・札幌矯正管区

平成二七年五月三〇日～三十一日

於 天理教北海道教務支庁 参加者二二名

講演 「心に響く教誨を目指して」

講師 西川 太 氏（教誨師・金光教札幌南教会長）

委員長講話（井上 廣）、ねりあい・意見交換会

・仙台矯正管区

平成二七年六月八日～九日

於 ホテル白萩（仙台市） 参加者三三名

講演 「宮城刑務所の現状」

講師 庄司みどり 氏（宮城刑務所分類教育部長）

ねりあい、意見交換会、施設見学（宮城刑務所）、東日本大震災慰霊碑参拝

・名古屋矯正管区

平成二七年六月二九日～三〇日

於 天理教愛知教務支庁 参加者三五名

講演 「犯罪心理学より」

講師 中野 實 氏

（天理大学矯正保護支援課程講師・元大津鑑別所々長）

委員長講話（井上 廣）、ねりあい、意見交換会、中協園（更生保護施設）見学

・広島矯正管区

平成二七年一〇月二八日～二九日

於 アークホテル広島駅南 参加者三四名

講演 「人生即遍路なり」

講師 石崎 清之 氏（広島刑務所篤志面接委員）

三分間活動報告（参加者全員）

まとめ（井上 廣 委員長）、意見交換会

原爆資料館見学

当日、広島矯正管区教誨師連盟会長山根眞三氏が、ご出席下さった。

◇おやさと研修会

平成二七年二月二五日 参加者六二名

講義 「教誨師・篤志面接委員としておもうこと」

講師 脇屋 眞一 氏（浄土真宗本願寺派教誨師）

ねりあい（協議会）

◇教誨師連盟総会

平成二七年四月二五日 参加者六〇名

平成二六年度事業報告、会計報告、平成二七年度事業計画、会計予算、ブロック研修会報告・案内、ねりあい（協議会）

◇「教誨師連盟だより」第一五号発行（七月二六日）

◇新任教誨師研修会（篤志面接委員含む）

平成二七年九月二五日 参加者一八名

講義 「矯正施設が宗教教誨・篤志面接委員に期待すること」

講師 連盟 小澤直樹 委員

講義 「矯正施設が宗教教誨・篤志面接に期待すること」

講師 「天理教教誨師のつとめ」

講師 連盟 井上 廣 委員長

修了証書授与

修了証書授与

◇その他

天理教表統領より新任教誨師に辞令交付（随時）

常任委員会・委員会開催（随時）

曹洞宗教誨師連合会

連絡先 曹洞宗宗務庁教化部布教課
☎ 〇三―三四五四―五五六〇

◎曹洞宗教誨師連合会について

曹洞宗は、各矯正施設に従事している、曹洞宗の教師を「曹洞宗教誨師」に任命し、その「曹洞宗教誨師」、および曹洞宗の教師である「篤志面接委員」を会員とする「曹洞宗教誨師連合会」(以下、当会)を組織しております。

当会の創立は、昭和三九年(一九六四)年で、大阪管区で開催された「第一〇回全国教誨師大会」を契機に組織され、現在の会員数は一五九名です。(平成二七年二月一日現在)

当会の運営は、矯正管区毎に委嘱された理事を中心に行っており、目的は、教誨事業の向上発展と、会員相互の緊密なる連繋と親睦を計ることです。この目的を達するために、教誨儀礼の研究、研修会の開催、懇談会(親睦)の開催などの事業を行っております。

また、研修会での講演を基にした講義録を作成し、会員に配布し、さらに新任の教誨師には当会作成の『曹洞宗教誨師マニュアル』を配布しております。

曹洞宗からは、教誨師、および篤志面接委員に、状況に応じた補助金の支出をしております。

また、曹洞宗の月刊誌『禪の友』を、会員や希望される矯正施設へ配布しています。

さらには、教誨活動の一環として、坐禅の際に使用する坐蒲(坐禅用の丸い綿入りの座布団)やお経本などを、希望される矯正施設へ寄贈しています。

◎今年度の活動状況について

今年度は一〇月三〇日から三十一日の一泊二日の日程で、宮城県の松

島センチュリーホテルを会場に、平成二七年度曹洞宗教誨師連合会研修会・総会が、二一名の参加を得て開催しました。

当会理事である伊達廣三理事により開会式が行われ、引き続き東北大学災害科学国際研究所所長兼、同研究所津波工学研究分野教授である今村文彦先生をお招きして、「東日本大震災の教訓と将来への防災の備え」という演題で、東日本大震災発生後の調査や、防災・啓発と、地震・津波などのメカニズム等についてご講演をいただきました。つづいて班別会があり、各参加者から「曹洞宗の教誨を尊重しつつ、どのような教誨活動を行っていくのか」というテーマに沿って、活発な意見が途切れることのない会となり、引き続き行われた全体会では、各班の代表者から報告がありました。その後総会が開かれ、第一日目の日程を終了しました。

第二日目は、宮城県曹洞宗通大寺住職である金田諦應先生をお招きして、「東日本大震災『カフェ・デ・モンク』の傾聴活動と臨床宗教師養成の試み」と題してご講演をいただきました。『カフェ・デ・モンク』とは、金田先生が主宰しておられます傾聴移動喫茶の事であり、現在も東日本大震災で被災された方たちへの心のケアに携わっておられる体験談について、また、臨床宗教師としての研究内容と活動内容についての講演でした。その後、今年度の研修会は閉会となりました。

閉会後バスで移動し、宮城県曹洞宗長音寺へ訪れ、伊達老師を導師に、東日本大震災追悼慰霊並びに復興祈願法要を行い、法要後、当該住職である秋山公純師や檀信徒の方々に、震災当時の出来事についてお話をいただきました。

二日間という限られた日程ではありませんでしたが、今後の教誨活動と布道教化の一助となる研修会となりました。

曹洞宗、および当会は現在社会において、教誨活動を重要な社会教化の一つとして捉え、被収容者の更生と、社会復帰の一助となるよう、引き続き更なる支援をしていく次第でございます。

神 社 本 庁

連絡先 神社本庁教化広報部教化課
☎ 〇三―三三三九―八〇一一

一、組織

神社本庁では、独自の教誨師団体は組織してをらず、神社本庁統理の委嘱により各都道府県の神社庁に神社本庁教誨師が駐在（一期三年）し、教誨活動を行ってゐる。神社本庁教誨師は、各施設で教誨活動を行ふ他、年一回の教誨師事務報告書や教誨活動報告書等の事務を取り扱つてゐる。

教誨師全般についての事務は教化広報部教化課が所管してをり、教誨師の任命事項、教誨師からの報告書取り纏め等の事務をはじめ教誨師研究会、教誨師養成研修会等の関係諸会合を開催し、関係団体との折衝にあたつてゐる。

また、教化資材等を作成し教誨活動に資すると共に、それらを関係機関に寄贈して活用願つてゐる。

尚、東京都神職教誨師会、北海道地区神社庁駐在教誨師会（札幌矯正管区）、仙台矯正管区内神社本庁教誨師会（仙台矯正管区）、高松矯正管区内四国神社本庁教誨師会（高松矯正管区）がそれぞれ地元教誨師により自主的に組織されてをり、種々の活動を行つてゐる。

二、神社本庁教誨師研究会について

神社本庁では、昭和二五年より毎年、教誨師研究会を開催してゐる。

本年は、一〇月二三、一四日の両日、新潟県新潟市において、各神社庁駐在の神社本庁教誨師など約三〇名の参加を得て「犯罪に反

さない―社会復帰につなげる教誨活動―」をテーマに開催した。

初日は新潟市内のホテルを会場に、まづ、新潟刑務所首席矯正処遇官の稲見淳一氏より「刑事施設における取組」、同じく新潟刑務所法務教官の田村勝弘氏より「刑事施設の教育」と題してそれぞれ講演を戴いた。講演に引き続き、全体会を実施。特に今回は「神道教誨をいかに再犯防止につなげるか」「教誨師後継者の育成」「各教誨師が抱へる負担」の三点を中心に意見交換がされた。

二日目は、新潟市中央区の白山神社に正式参拝の後、境内の白山会館を会場に、新潟家庭裁判所次席調査官の仁瓶正人氏より「少年審判手続と家裁調査官―少年の立ち直りのために―」と題して講演を戴いた。

講演後には、同市江南区にある新潟刑務所を視察し、河野満所長より施設概要を説明戴くとともに、所内を案内。地元名産の漆器「木彫堆朱」や、白根大風合戦で知られる風の製作現場などを紹介戴いた。

三、神社本庁教誨師の養成について

神社本庁では、教誨師の後継者養成を目的とすべく、平成一九年より「教誨師補助員」の制度を設けてゐる。教誨師になるべき人材を各都道府県神社庁長が教誨師補助員として委嘱し、各種会合にも参加を呼びかけてゐる。

浄土宗

連絡先 浄土宗教誨師会

☎〇三―三四三六―二三五一

浄土宗教誨師会は全国で一四〇余名を有し、七二施設で教誨に取り組んでいます。

組織としては、全国を北海道から九州までを八ブロックに分け、ブロック研修会を都道府県持ち回りで年一回開催しています。

また、浄土宗教誨師会として六月に八ブロックの一カ所を回り、八年間で全国を一周する「浄土宗教誨師研修会」を一泊二日で開催、一・二月初旬には京都知恩院会場と東京増上寺会場で、隔年京都は教誨師会担当で、東京は保護司会担当で「中央研修会」を毎年開催しております。

本年度の「浄土宗教誨師研修会」は、五月二七日・二八日、大本山「増上寺」を会場として開催しました。講師は元ライブドアの堀江貴文氏の「塀の中で考え、これからやろうとしていること」、ジャーナリストで作家の堀川恵子氏の「私が出会った教誨師」の講題で講演を拝聴しました。翌日は堀事務局長の「教誨指針」、増上寺、井澤隆明執事より「増上寺と徳川家―蘇る台徳院殿霊廟」と題し講演を拝聴し、イギリスから永久貸与された霊廟のミニチュアを拝観しました。

地区研修会は、

・北海道地区、一二月九日～一〇日「ホテルガーデンパレス札幌」にて開催、講師は札幌国際大学教授・品川一郎氏、講題「家庭裁判所と少年事件について」と人権同和研修。

・東北地区、一月一日～二日「ホテル辰巳屋」「福島刑務支所」にて開催、講師は福島刑務支所長の平岡聡氏、曹洞宗伝正寺住職

の金平祖隆師。

・関東地区、「浄土宗教誨師研修会」と併修。

・東海地区、平成二八年二月九日「願王寺」にて、講師は播磨社会復帰促進センター教誨師の明石和成師、講題「教誨師を拝命して」、浄土宗民生・児童委員協議会理事長の加藤正典師「東日本大震災と民生委員活動」。

・近畿地区、七月一日「姫路少年刑務所」「ホテル日航姫路」にて、講師は姫路少年刑務所総務部長の桑原氏、講題「姫路少年刑務所の現状」、統括処遇官の権藤氏の所内案内、上村元正師、講題「私の教誨」、堀芳照師「少年法の改正について」。

・中・四国地区未開催。

・九州地区、一〇月二六日～二七日「ANAクラウンプラザ熊本 ニュースカイ」・更生保護法人「熊本自営会」にて、講師は熊本保護観察所の吉村 県氏、講題「社会貢献活動について」、犯罪被害者遺族会の清水誠一郎夫妻、熊本自営会職員。

一二月四日～五日、浄土宗保護司会担当で浄土宗教誨師会と合同で、東京芝増上寺にて「中央研修会」を開催いたします。

総会は「浄土宗教誨師研修会」に合わせ、五月に開催しました。常任理事会は年二回、総会前と一二月に次年度の事業計画と予算案を中心に審議しています。

理事会は、「浄土宗教誨師研修会」の午前中に会議を開催し、審議を願っています。

日蓮宗

連絡先 日蓮宗教誨師会事務局
☎〇七〇一五三五五―九八五六

日蓮宗教誨師会

(一) 概略

日蓮宗では刑事施設に所属している一二〇余名の日蓮宗教師の教誨師が全国組織（日蓮宗教誨師会）を結成し連携・研修・親睦を図っている。

日蓮宗教誨師会は宗門では全国社会教化事業協会連合会の関連団体・部会活動と位置づけられている。

各教誨師は全国の刑事施設に所属した教誨師であり、宗門から推薦を受けているものの、任命・委嘱を受けていない。宗門内で身分を明確にするよう、継続的に、働きかけていた。

平成二六年九月、小林順光宗務総長に謁見し、宗務総長推薦をお願いしたところ、前向きに検討していただけることとなり、平成二七年に新任者に対しては宗務総長名の推薦書を、既に教誨師になっている者に対しては宗務総長名の証明書を発行していただけることとなった。

(二) 平成二六年度の活動

1 平成二六年度 第四八回日蓮宗教誨師会総会香川大会の開催

期 日 平成二六年六月一二日・六月一三日
会 場 オークラホテル丸亀（香川県丸亀市）
講 演 「少女たちの今、これから」
講 師 丸亀少女の家長 池田 一氏

2 日蓮宗教誨師会執行部会の開催

3 日蓮宗教誨師会理事会の開催

4 日蓮宗教誨師会事務局会議の開催

5 日蓮宗教誨師会特別研修の開催

6 社教関連七団体会長並びに事務担当者連絡会議への参加

7 宗門代表者との連絡協議会への参加

8 在京宗団代表者との懇談会への参加

9 平成二六年度全国社会教化事業協会連合会総会・研修会への参加

10 第四九回教誨師中央研修会への参加

11 表彰

(三) 活動費

会員の年度会費・宗門からの助成金によって賄われている。

(四) 方針

人心の荒廃・犯罪の凶悪化、多様化、低年齢化と高齢化、国際化、ネット社会に於ける犯罪の巧妙化、裾野のひろがりなど、現代社会は多くの問題を抱えている。

その中であって仏陀釈尊の教えである「皆共成仏道」「但行礼拝」などの慈悲の精神で教誨に取り組む。

より効果のある教誨を目指すため、各々の施設や教宗団と情報交換を図り、親睦を深め、積極的に協力をしていく。

「悉有仏性」の観点から被收容者に寄り添いながら、十分な反省を促し、各々の可能性を共に探り、前向きに生きる勇気を求め、与えていく。

より良い社会のための再犯率低下に資することも大切な目的である。

金光教教誨師会

連絡先 金光教教誨師会
☎ 〇八六五一四二一三一一

金光教教誨師会におきましては、現在六七名の教誨師が、五〇カ所の矯正施設に出仕させていただき、教団の社会活動の一環として、年間七〇〇回余りの教誨活動を行っております。

平成二七年度におきましては、金光教本部を会場に三月四日～五日にかけて総会ならびに全体研修会を開催いたしました。

また、本年は閉会後に、新任教誨師の研修会を、任命以来一〇年未満の方々を対象に開かせていただきましたところ、一〇名ほどの方々の参加を得て無事開催することができました。

内容としては、成人施設と少年施設について、その特徴や違いなどを映像で学ばせていただき、その後、教誨にあたっての問題点や疑問点などについて、意見交換させていただきました。

新任教誨師の方からは、わからぬまま進めてきていたところもあり、出席して参考になったとの声が聞かれました。今後も機会を見て新任者の研修会をさせていただきたいと願っております。

また、全国四つのブロックにおいて、それぞれにブロック研修会を開催し、教誨実施に関わつての問題点等の検討協議を始め、出席者による「ある日の教誨」や施設参観などを通して、教誨の資質の向上を図ってまいりました。

また、金光教の教師養成機関である金光教学院において、これから金光教教師として育っていかれる方々に、教誨活動への理解と、新たな教誨師の育成を願って二名の教誨師が出向し、ゼミナールを開催いたしました。

広報活動といたしましては、機関紙「教誨だより」を年二回発行し

教誨活動にふれたことのない方々に、活動を知っていただくことを願い、全教の教会に配布いたしました。

平成二八年度におきましても、活動の中心は相互研鑽に置き、三月五日～六日にかけて金光教本部を会場に、総会並びに研修会を開催し、教誨活動を充足させるべく各種協議を行うほか、講演並びに参加者による「ある日の教誨」を実施することによって、教誨師一人ひとりの教誨姿勢並びに教誨内容の充実を図ってまいりたいと思っております。この度の講演には、イジメやハラスメント等の人権課題に取り組んでおられる、市場恵子さんにお越しいただき、「子どもが被害者にも加害者にもならないために」いま、地域で私たちおとなにできること」とのテーマでお話をいただく予定にいたしております。

また、その後四つのブロックにおいては以下のように研修会並びに施設の参観を予定しております。

第一ブロックにおいては、五月二六日～二七日にかけて茨城県下において研修会。

第二ブロックにおいては、六月一六日に名古屋市にある金光教名古屋センター三重事務所の篤志面接委員をお招きして研修会。

第三ブロックにおいては、七月一三日～一四日にかけて岩国市において研修会。

第四ブロックにおいては、七月六日～七日にかけて別府市において研修会。

その他、年頭祈願祭を一五施設において執行し、また生神金光大神大祭、年末大祓並びに感謝祭、慰霊祭をそれぞれ一カ所ずつ執行させていただき予定にいたしております。

また、明年も金光教の教師育成機関である金光教学院において、教誨活動への理解とともに、新たな人材の育成を願い講習会の実施を予定いたしております。

金光教教誨師会長 畔柳 俊雄

天台宗

連絡先 天台宗教誨師会
☎〇七七一五七九一〇〇三二

天台宗教誨師会の現況

天台宗教誨師会は矯正施設での教誨師並びに篤志面接委員である天台宗の教師を以て組織しております。会の発足は昭和四四年五月一日、現在三九名の会員が所属しております。

会の目的は天台宗の教義に基づき、矯正施設における教誨の充実と会員相互の研修・親睦をはかり、教誨師並びに篤志面接委員の養成につとめることであり、天台宗教義の近代化と実践、教誨経験の交流及び調査、会員相互の連絡、官庁並びに天台宗務庁及びその他関連機関との連絡協調などを課題として、年に一度、総会・研修会の開催を執り行っています。

また、宗内における教師並びに寺族の教誨活動理解に対する活動として『天台宗教誨師会々報』を発行いたしており、本年度の三月に第八号を発行いたします。

平成二七年度事業について

一、平成二七年度天台宗教誨師会総会・研修会

平成二七年度総会・研修会は五月一九日～二〇日の日程で、北海道函館市にて開催いたしました。

一日目の総会では平成二六年度事業・決算報告、平成二七年度の事業計画・予算案の審議が行われました。また役員改選が行われ、新たに小山健英師（長野刑務所）が会長に選出されました。総会後には会員による教誨事例発表会を実施いたしました。教誨事例発表

は平成二二年度からの試みで、本年度は植竹徳道師（千葉刑務所）と清原正田師（山形刑務所）の二名が発表者を務めました。発表後には活発な質疑応答や意見交換が行われました。その後、懇親会を催し、会員相互の情報交換を行うと共に親睦を深めました。

二日目は函館少年刑務所の施設見学を実施。刑務所職員より説明を受けながら収容施設及び作業施設を見学しました。天台宗教誨師会では教誨師の寺族の研修参加も認めており、本年も住職婦人が数名参加されました。今後とも会員相互の情報交換や教誨活動に役立つ研修会を開催していきたいと考えております。

二、『天台宗教誨師会々報』について

会報は年に一回の発行で、平成二七年度号（第八号）は平成二八年三月に発行予定です。平成二三年度より天台宗の広報紙、『天台宗報』に掲載しております。会報は会員からの寄稿を中心に構成されており、宗内の教誨活動理解を深めていければと考えております。

天台宗教誨師会役員紹介

会長	小山 健 英（信 越）
副会長	谷 晃 昭（群 馬）
同	浅 野 玄 航（南 総）
理 事	野 中 玄 雄（九州東）
同	吉 田 実 盛（兵 庫）
監 査	桑 谷 祐 顕（兵 庫）
同	植 竹 徳 道（南 総）



全キリスト教

連絡先 日本基督教団教誨師会

☎ 〇三―三二〇二―〇五四一

キリスト教教誨師は、二〇一五年一月現在、二五八名、内、カトリック系が六一名、プロテスタント系一九七名です。キリスト教教誨師の構成メンバーを教派別に分類しますと、カトリックは一教派でまとまっていますが、プロテスタント系は、五三教派と多くの教派が宗教教誨の働きに関わっていることになります。これらをまとめる組織として「全キリスト」という集まりがありますが、教誨師の委嘱任職の推薦をはじめとして、研修会などの企画は、ほとんど各教派別おいて行われています。

今回は、プロテスタント系の日本基督教団についての報告とさせていただきます。日本基督教団の教誨師は九三名です。日本基督教団に属している教誨師は、すべて日本基督教団教誨師会の構成メンバーとなります。総会は、二年に一度、開催され、実際の企画運営を行う運営員の選出、活動報告、会計報告、活動企画案、会計予算案を決議します。二〇一五年は、総会開催年度ではないため、総会は次年度ということになります。

二〇一五年度の活動は、主に、教誨師研修会の開催と機関誌「ひとやの友」四一号の発行です。

教誨師研修会は、六月二十九日（月）―三〇日（火）、国立オリンピック記念青少年総合センターにて三五名の参加で開催されました。なお、この研修会は、新任教誨師研修の役割も合わせて開催されています。

主な内容は、①教誨師が在籍している一五の教区（地域のブロッ

ク）から教区代表者による活動報告、②講師による講演と学び、③教誨師による発題となっています。

①教区代表者会

各教区における教誨師の支援体制は一樣ではなく、教誨師の働きをどう支えるかが今後課題であることなどが報告されました。

②講演

「子どもたちに寄り添う―いじめ・虐待・少年非行―」と題して、弁護士坪井節子氏（弓町本郷教会員）からの講演。坪井氏は、カリヨン子どもセンターを立ち上げ、理事長として子どもたちのさまざまな問題に関わっておられます。いじめや虐待で苦しむ子どもたちとどのように出会い支援をしてきたか、苦しむ者と共におられるキリストを発見してきたか、について貴重なお話を聴けました。

③教誨師による発題

福島義也教誨師（和泉学園）から、少年たちの心を開こうとする努力と少年たちを力づける福音を届けたいという発題。朝位真土教誨師（愛光女子学園）から、ご自身の信仰歴、牧師歴に加えて、少女たちに神の愛とその福音の喜びを知ってほしいという発題。お二人とも、罪を犯さざるを得なかった子どもたちに寄り添い、喜びを持ってこの働きに仕えている様子を分かち合うことができました。

機関誌「ひとやの友」は、毎年、一回、発行をし、各教誨師の情報交換、教誨師の働きを各教会・キリスト教系諸団体に広く知ってもらい、お祈りとお支えをお願いする情報発信の役割を担っています。

全真言宗教誨師連盟

連絡先 全真言宗教誨師連盟

☎〇七三六―五六―二〇一一

○全真言宗教誨師連盟 役員紹介

会 長	二神 瑞隆	真言宗豊山派
副会長	小池 弘三	真言宗須磨寺派
同	和田 大雅	真言宗御室派
幹事長	原 豊壽	真言宗智山派
会 計	高岡 精司	真言宗豊山派
監 事	麻生 章雄	真言宗醍醐派
同	吉田 正裕	真言宗御室派
事務局長	岩崎 榮勝	真言宗豊山派

○全真言宗教誨師連盟 活動内容

現在一五七名の会員にて、各矯正管区施設に於いて教誨活動を行っております。

役員任期は二年で、各山より若干名の理事を選出していただき、理事会を構成しております。

年二回の理事会と年一回の総会及び研修会を開催し、事業や会計など審議しております。

また、機関誌『遍照』を毎年一回発刊しています。

○第五五回全真言宗教誨師連盟大会 報告

昭和三六年に全真言宗教誨師連盟が発足し、第五五回大会となる本大会では、会場を高野山真言宗・総本山金剛峯寺に於いて、平成二七

年一月一〇日、一日の二日間に互り開催いたしました。

大会テーマを『生かせいのち―大師のみおしえいまここに―』とし、一〇日には総会並びにジャーナリスト堀川恵子先生による『罪を犯した人に向き合う―宗教教誨の現場から―』という研修会を行い、翌一日には高野山真言宗管長・総本山金剛峯寺座主 中西啓寶殿下を御導師にお迎えし、奥之院燈籠堂にて『高野山開創千二百年記念全真言宗教誨師連盟 報恩法会』を厳修いたしました。

平成二八年には、第五六回大会を総本山善通寺に於いて開催する予定です。

全真言宗教誨師連盟事務局長 岩崎 榮勝

あとがき

◆『教誨師連盟だより』No五〇号をお届けいたします。◆今年もいろいろなことがありましたが、残り僅かになりました。九月の大雨で洪水の被害に被った方々に想いを馳せたり、戦争法案の件などについて考えさせられたりしました。反面、ラグビーワールドカップでは、選手たちの活躍に胸を躍らせ、多くのことに感動し、今年も大変な年であったことを実感しています。◆研修会関係では、中央研修会を初め各管区連盟において研修会が実施されました。統一研修テーマ「希望へ」に沿った研修が実施され、大いに成果を挙げられたとうかがっております。◆私事ですが、本年四月から全国教誨師連盟事務局で仕事をさせていただき、早いもので九か月が経過しました。◆仕事を行うなかで、右も左も分からず、皆様方には大変ご迷惑をお掛けしたり、お世話になったりの日々に終始しましたこと、わが身の不徳のいたすところと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

(事務局 佐藤)